

第8回チャンネル700番組審議委員会 議事録

ジャパンケーブルキャスト株式会社
プラットフォーム事業推進部

1. 開催日時 平成29年2月23日(木) 10:30~12:00
2. 開催場所 本社 (東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館8F) B・C会議室
3. 委員 総数 10名
出席委員数 8名 (欠席委員数 2名)

● 出席委員 (敬称略、氏名50音順)

株式会社ニューメディア	月刊ニューメディア代表発行人	天野 昭
株式会社電通	パブリック・アカウント・センタ営業部 部長 ラジオテレビ局 部長 メディアコンサルタント	出田 稔
株式会社ハートネットワーク	代表取締役	大橋 弘明
立教大学	現代心理学部映像身体学科 教授 メディアセンター 副センター長	佐藤 一彦
ソネットエンタテインメント株式会社	代表取締役社長	中野 秀紀
株式会社ビデオ・テック	代表取締役	平石 能敬
株式会社東京デジタルネットワーク	顧問	棟田 和博
株式会社野村総合研究所	上級コンサルタント コンサルティング事業本部 ICT・メディア産業コンサルティング部	山口 毅

● ジャパンケーブルキャスト (JCC)

代表取締役社長	大熊 茂隆
専務執行役員	田中 慶彦
プラットフォーム事業推進部 部長	那須野 英樹
チャンネル700チーム リーダー	岩浪 正純
チャンネル700チーム 主任	吉水 聖一
チャンネル700チーム 担当	枝川 遼
チャンネル700チーム	保坂 淳

4. 内容 (1) 挨拶
 (2) 番組審議委員の紹介
 (3) スタッフ・JCC三人娘紹介
 (4) 今年度の取り組みについて
 (5) 配信映像ダイジェスト上映
 (6) 番組審議・意見交換 (次ページ以降参照)

5. 番組審議等

【番組審議】

20分ほどの配信映像ダイジェストを視聴後、内容を審議し全委員から「問題あり」という意見はでなかった。取り上げた番組は以下の通り。

項番	権利元名	番組名
1	よさこいケーブルネット/四万十町ケーブルテレビ	奥四万十博生中継
2	テレビ小松	小松 曳山子供歌舞伎 2016 お旅まつり 奉納歌舞伎 衛星生中継
3	アイ・キャン	海上自衛隊/米海兵隊 岩国航空基地フレンドシップデー 2016
4	宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	大西飛行士 ISS 長期滞在打ち上げ
5	西尾張シーエーティーヴィ	尾張津島天王祭
6	アイ・シー・シー	ICC 一宮七夕まつり
7	八戸テレビ放送	八戸三社大祭
8	エヌ・シー・ティ	長岡花火大会
9	ニューメディア 函館センター	函館港まつり
10	秋田ケーブルテレビ	秋田竿燈まつり
11	大分ケーブルテレビコム	大分府内戦紙
12	アイ・キャン	錦帯橋花火大会
13	気仙沼ケーブルネットワーク	気仙沼みなと祭り
14	テレビ松本ケーブルビジョン	山の日生中継
15	エルシーブイ	岡谷太鼓祭り
16	エルシーブイ	諏訪湖祭湖上花火大会
17	よさこいケーブルネット	土佐市大綱祭り
18	四万十町ケーブルテレビ	四万十大正あゆまつり
19	陸上自衛隊	富士総合火力演習
20	エルシーブイ	全国新作花火競技大会
21	Australian Broadcasting Corporation	2016 AFL Grand Final
22	ハートネットワーク	新居浜太鼓祭り 2016 上部地区山根グラウンド統一寄せ
23	宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	「こうのとりの6号機打ち上げライブ生中継
24	花巻ケーブルテレビ	第59回わんこそば全日本大会生中継
25	エルシーブイ	おんぼしら
26	アイ・シー・シー	第50回チンドン祭
27	三沢市ケーブルテレビジョン	三沢基地航空祭 2016
28	中部ケーブルネットワーク	全国高等学校剣道選抜大会
29	新川インフォメーションセンター	全日本大学女子野球選手権大会～マドンナたちの魚津の夏!
30	愛媛 CATV	第19回俳句甲子園全国大会
31	TOKAI ケーブルネットワーク	大道芸ワールドカップ in 静岡
32	南九州ケーブルテレビネット	つなぐ初午祭～父から子そして孫へ～
33	ジェイコム九州	自悠時間 大人の嗜み 能楽入門
34	BTV	証言 都城空襲
35	エルシーブイ	満州 富士見分村～戦後70年の証言～
36	キューテレビ(ひのき)	FISH★KATSU 四国・徳島名物～フィッシュカツ～
37	テレビ北信ケーブルビジョン	新春お国自慢サミット 2017
38	ニューメディア 函館センター	街ナカ情報発信! てけておじゃマップ
39	仙台 CATV	みんなのテレビ
40	東京ケーブルネットワーク	あらぶんちよ散歩

項番	権利元名	番組名
41	稲沢シーエーティーヴィ	筋肉小町と実験しよう
42	よさこいケーブルネット	女子のすゝめ
43	よさこいケーブルネット	それいけ爆釣中!
44	中讃ケーブルビジョン	だめんずきっちん
45	大分ケーブルテレコム	笑う門には福来たる
46	ジャパンケーブルキャスト	情熱! 日本武道館
47	ジャパンケーブルキャスト	寄席の時間
48	ジャパンケーブルキャスト	ケーブルテレビ熱血教室
49	ジャパンケーブルキャスト	知られざる深海の世界へ
50	ジャパンケーブルキャスト	第40回世界オセロ選手権
51	ジャパンケーブルキャスト	東京カレー
52	ジャパンケーブルキャスト	神保町古書店めぐり
53	ジャパンケーブルキャスト	伊藤さとりと映画な仲間たち
54	各局/ジャパンケーブルキャスト	JCC 三人娘が行く!
55	Australian Broadcasting Corporation	オーストラリア・プラス
56	TV5MONDE	TV5MONDE
57	CLUB TV JAPAN	CLUBTV
58	エクスプレス	三宅智子の駅弁女子ひとり旅
59	独立行政法人情報処理推進機構	映像で知る情報セキュリティ
60	OSK 日本歌劇団	レビュー O S K
61	エレファント・プロダクション	GoW e s t
62	リベラ株式会社	劇場映画予告編
63	名古屋テレビネクスト	超ムーの世界
64	KBS JAPAN	K-クッキング〜自然をつめた一食
65	IMAGICA TV(歌謡ポップス)	わが心の演歌
66	釣りビジョン	釣りビジョンアワー
67	CS 日本	鉄道発見伝
68	アトス・インターナショナル	Music Japan TV
69	ヒューマックスコミュニケーションズ	コミカル&セクシー プロレスリング WAVE
70	NPO 法人映画甲子園	高校生のための eiga worldcup2016

【チャンネル700に関する主な提言・意見交換】

委員 幅広いジャンルの番組を取り扱っている印象。視聴者が番組を調べ易い環境にすることは、必要かもしれない。祭り・ロケット打ち上げ中継などの放送ならではのコンテンツは良い。

昨今の総務省は地域への人の流れと作ろうとしている。全国放送しているのであれば、人を動かすような働きかけができれば。権利上難しいかもしれないが、これらのコンテンツをアーカイブ化しネット上で見ることができれば面白い。

JCC 年々番組も増えており、今まで取引のなかった局からも番組を提供いただいている。チャンネルの立ち位置も踏まえ、考えていければ。

委員 落語などのコアな番組は好きな人には興味を持ってもらえる。それらの番組がいつ放送しているかを認知してもらえれば、さらに広がると考える。

- 委員 地域のコミュニティがしっかり形成されている地域は、ケーブルも盛ん。ケーブルと連携し、地域の内外からの視点で番組を制作できれば他局の参考になるのでは。司会者が話をする番組はよく見かけるが、一般視聴者に出演してもらう番組はどうか。コアな話ができる人材を発掘できれば、それだけで面白い番組になると考える。また今後の番組作りでは、IP放送を意識することも必要。
- JCC 自社制作番組にお子さんが出演しているという問い合わせもある。一般の方をどう巻き込むか検討したい。
- 委員 現在、グループ会社で海外の放送局と共同で日本紹介の番組を制作している。お祭り・花火はその題材として刺激的。そういったチャレンジを行えば、より拡大できるのでは。グループ会社の番組はエンタメ色が強く、入り口は出演者目当てだが、視聴しているうちに映像の魅力に引き込まれる作りになっている。各地域の映像を集めているのであれば、そこまで行っても面白い。
- JCC 中長期的に海外への紹介等の試みも検討したい。
- 委員 これだけの数の番組を取り扱っているのは、チャンネルの力として大きい。その中で、地上波の番組との差別化が必要。差別化の1つとしては1カットの尺を長くするなど。また、司会を入れると地上波番組に近づいてしまうため、良し悪しがある。今回の審議内ではナレーション処理の番組少なかったが、そういった番組を増やしてみてもは。今後、地上波のネット同時配信が本格化する可能性を考えると、以上のような技術レベルでの差別化を行うべき。
- 委員 ケーブルテレビの番組は同じ内容でも、加入者が出演者として出るため、変わらない良さもある。ただし、今後は全国・海外といった外を意識した番組が必要。700（チーム）にお願いしたいこととして、700チームには独自に進化してきた各ケーブル局の番組が集まりノウハウの偏りもわかると思うので、視点やアングル、編集など各局に対して制作におけるアドバイスをしてほしい。
- 委員 チャンネル700の採用局へ視聴プロモーションをかけることは重要。内容や番組尺など、視聴者が求めるものを制作・収集していく。ネットでは長尺の番組を視聴してもらうことは難しい。中継番組も数時間じっくり見るものではないが、視聴者が見たいものへの最適化は運用していく中で分かっていくのでは。今後IPや海外展開を考えていくうえで、ケーブル局と共同制作することも視野に入れては。

- 委員 地域の民放局で自主制作をしている番組は10%程度。ケーブル局の方が地元で制作している番組は多い。さらなる視聴プロモーションが望まれる。今後はIP化の権利も取得し、海外にコンテンツを出すことも必要では。
- JCC さらに、地元及びケーブル局を活性化させる案を考えていく。
- 委員 様々な番組を取り扱っているのは非常に良い。今後は祭りだけでなく、防災・災害情報も取り上げてほしい。他には、ケーブル局の番組に英語ナレーションを付けて、英語教育番組などを行ってみては。他局のいい参考になる。
- JCC 番組が増えてきているのは、今までの縁と地道な努力によるもの。委員の話を受けて、ケーブルにフィードバックできる場にできないか考えた。制作面でのアドバイスや、海外でコンテンツを販売するお手伝いができないか検討していきたい。

以上